

## 安全データシート

改訂日:2021年8月17日

1. 製品及び会社情報	
製品名	炭酸アンモニウム
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	DA0061
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	情報がない為分類できない。
物理化学的危険性	該当情報なし。
健康に対する有害性	分解により有害なアンモニアガスを発生する。
環境に対する有害性	該当情報なし。
3. 組成、成分情報	
単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	炭酸水素アンモニウムとカルバミド酸アンモニウムの混合物
成分及び含有量	NH <sub>3</sub> として20~30%
化学式又は構造式	—
官報公示整理番号	(1)-141
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 506-87-6
4. 応急措置	
吸入した場合	直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口中を洗い、多量の水を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	
消火剤	炭酸ガス、粉末消火剤、泡末消火剤
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	分解により有害なアンモニアガス、CO <sub>2</sub> を発生する。
特有の消火方法	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移す。移動不可能な場合は散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
保護具及び緊急時措置	保護手袋、保護眼鏡、保護衣、防塵マスク
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和	粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	
接触回避	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。
保管	
技術的対策	該当情報なし。
適切な保管条件	換気の良い涼しい場所に保管する。密閉。
混触危険物質	強酸、強酸化剤
容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	該当情報なし。
保護具	
呼吸器の保護具	該当情報なし。
手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。

衛生対策		取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状态、形状、色など		結晶
色		無色透明
臭い		アンモニア臭
融点・凝固点		該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲		該当情報なし。
可燃性		該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		該当情報なし。
自然発火温度		該当情報なし。
分解温度		約60℃
pH		水溶液は強いアルカリ性を示す。
溶解度		水に可
n-オクタノール / 水分配係数		log Kow = 0.184
蒸気圧		該当情報なし。
密度及び/又は相対密度		該当情報なし。
相対ガス密度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
安定性		熱に不安定で60℃で分解する。空気中に放置するとアンモニアを発揮して重炭酸塩になる。
危険有害反応可能性		該当情報なし。
避けるべき条件		湿気
混触危険物質		該当情報なし。
危険有害な分解生成物		該当情報なし。
11. 有害性情報		
急性毒性		該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性		該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性		該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。
生殖細胞変異原性		該当情報なし。
発がん性		該当情報なし。
生殖毒性		該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露		該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露		該当情報なし。
誤えん有害性		該当情報なし。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生態蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層に対する有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷ぐずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		

化学物質管理促進法(PRTR法)  
毒物及び劇物取締法  
労働安全衛生法  
消防法

指定化学物質に該当しない。  
毒物及び劇物に該当しない。  
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。  
危険物に該当しない。

16. その他の情報  
引用文献

16615化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。